

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.211



発行日 2017年11月30日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org



2018 年度全国大会のご案内・・・・・・・・・・	2	研究会報告年間購読の申し込みについて・・	16
第4回研究会開催案内・・・・・・・・・・	3-5	電子情報通信学会信越支部大会における教育	
第5回研究会開催案内・・・・・・・・・・	6	システム情報学セッション開催の報告・・	17
第6回研究会発表募集・・・・・・・・・・	7-8	学会 Twitter,	
特集論文研究会講演募集・・・・・・・・・・	9-10	Facebook ページのご案内・・・・・・・・	18
学会誌特集号募集・・・・・・・・・・	11	他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・	19
学生研究発表会発表募集・・・・・・・・・・	12	会費納入のお願い・・・・・・・・・・	20-21
ラーニングイノベーションングランプリ		事務局より・・・・・・・・・・	22-23
2018 開催案内・・・・・・・・・・	13	会員専用ページの案内,	
関東支部設立総会のお知らせ・・・・・・・・	14	学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,	
教育システム情報学会研究会における		新入会員のご紹介,	
不適切な質問等への対応について・・	15	入会のご案内	



2018 年度 JSiSE 全国大会(第 43 回)のご案内

2018 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日：	2018 年 9 月 4 日(火) ～ 6 日(木)
開催場所：	北星学園大学 http://www.hokusei.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<http://www.hokusei.ac.jp/access/>

・札幌市営地下鉄大谷地(おおやち)駅 1 番出口より徒歩 5 分

＜札幌駅・札幌市中心部から＞

札幌市営地下鉄を利用し、大通駅で東西線「新さっぽろ」行きに乗車、大谷地駅で下車(所要 約 15 分)

＜新千歳空港から＞

新千歳空港連絡バス(北都交通・中央バス)「地下鉄大谷地駅 直行便」に乗車、大谷地駅で下車(所要 約 35 分)



第 4 回研究会開催案内

担当：長谷川 忍，柏原 昭博，曾我 真人，小尻 智子

研究会運営協力：教育システム情報学会北信越支部

■テーマ：適応的なスキル学習支援／一般

※ 合同開催：電子情報通信学会教育工学研究会と合同開催です。

■開催日時：2017 年 12 月 2 日（土）10:00 -17:25

■会場：

金沢工業大学 扇が丘キャンパス南校地 15 号館 201, 205 号室(〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1)

※ 入館は 11 号館 1 階来客用受付から（15 時まで入館可，15 時以降も出ることは可能）

JR 金沢駅からの所要時間は通常 25 分程度です．金沢駅発：JR 北陸本線・福井方面（約 3 分）→西金沢駅着・新西金沢駅発：北陸鉄道石川線・鶴来方面（約 6 分）→ 野々市工大前駅着：徒歩（約 7 分）→金沢工業大学 http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html

※ 学食，売店は 13 時まで

■タイムテーブル

[開場挨拶 10:00-10:05]

[セッション 1 10:05-11:45]

(1-1) 10:05-10:30

PR0003 メンタリングを利用した科研を書くための WS の設計と実施

○山川 修(福井県立大学), 田中 洋一(仁愛女子短期大学), 杉原 一臣(福井工業大学)

(1-2) 10:30-10:55

PR0002 アカデミック・ライティングについての学習支援体制の構築 -関西大学ライティングラボの授業外個別相談と正課教育の連携-

○多田 泰紘(関西大学), 岩崎 千晶(関西大学), 中澤 務(関西大学)

(1-3) 10:55-11:20

PR0005 英語で読ませた時でさえ，マンガの要約に集合知は有効か？

○竹内 俊彦(東京福祉大学, 教育テスト研究センター), 加藤 尚吾(相模女子大学, 教育テスト研究センター), 加藤 由樹(東京女子大学, 教育テスト研究センター)

(1-4) 11:20-11:45

PR0001 問題の対象領域における論理構造を意識させる作問学習手法

原 一生(千葉工業大学), ○仲林 清(千葉工業大学, 熊本大学)

[昼休憩 11:45-13:00]

[セッション 2 13:00-14:15]

(2-1) 13:00-13:25

PR0014 学生スマートフォン必携に伴う BYOD を活用したアクティブラーニング –コンピュータ系授業における実践-

○亀田 真澄(山口東京理科大学)

(2-2) 13:25-13:50

PR0013 Android タブレット端末を利用した小学校安全マップ活動支援アプリケーションの改良 –操作性の向上を目指して-

○石川 将吾(東京工業高等専門学校), 吉本 定伸(東京工業高等専門学校)

(2-3) 13:50-14:15

PR0012 認知機能の評価及び維持・促進を目的とした Android アプリケーションの開発 –UI/UX の検討と実装-

○三島 成美(東京工業高等専門学校), 丸 龍之介(東京工業高等専門学校), 渥美 亮祐(東京工業高等専門学校), 福島 シオン(東京工業高等専門学校), 小久保 奈緒美(国立精神・神経医療研究センター), 吉本 定伸(東京工業高等専門学校)

[セッション 3a 14:30-16:10]

(3a-1) 14:30-14:55

PR0007 正課外活動に対応するポートフォリオ・システムのデザイン

○阿濱 志保里(山口県立大学), 宇田川 暢(山口県立大学), 川村 和弘(山口県立大学)

(3a-2) 14:55-15:20

PR0008 シラバスデータを用いた雛形コースの自動作成

○大西 淑雅(九州工業大学), 山口 真之介(九州工業大学), 西野 和典(九州工業大学), 福丸 浩史(九州工業大学), 林 朗弘(九州工業大学)

(3a-3) 15:20-15:45

PR0018 情報モラル適応型テストの能力値推定プログラムの動作検証

○枝窪 悠(東京学芸大学), 蛭名 哲也(東京学芸大学), 森本 康彦(東京学芸大学)

(3a-4) 15:45-16:10

PR0015 線形代数における計算アルゴリズム学習支援システムの開発と評価

○田中 円(龍谷大学), 樋口 三郎(龍谷大学)

[セッション 3b 14:30-16:10]

(3b-1) 14:30-14:55

PR0011 認知機能の評価及び維持・促進を目的とした Android アプリケーションの開発 –トレーニングモード機能の拡充-

○丸 龍之介(東京工業高等専門学校), 三島 成美(東京工業高等専門学校), 渥美 亮祐(東京工業高等専

門学校), 福島 シオン(東京工業高等専門学校), 小久保 奈緒美(国立精神・神経医療研究センター), 吉本 定伸(東京工業高等専門学校)

(3b-2) 14:55-15:20

PR0004 インターネット・リテラシー教育を支援する e ラーニング教材の学習履歴の分析

○内野 智仁(筑波大学附属聴覚特別支援学校)

(3b-3) 15:20-15:45

PR0010 肢体不自由者のための Kinect V2 センサーを用いた腕トレーニングシステムの改良

○Ng Xin Shien(東京工業高等専門学校), 吉本 定伸(東京工業高等専門学校), 谷本 式慶(八王子特別支援学校)

(3b-4) 15:45-16:10

PR0009 複数の入力手法に対応した特別支援教育における入力評価アプリケーションの開発

○上倉 颯太(東京工業高等専門学校), 吉本 定伸(東京工業高等専門学校), 金森 克浩(日本福祉大学), 佐野 将大(香川県立高松養護学校)

[セッション 特別講演(電子情報通信学会教育工学研究会と合同) 16:25-17:15]

信号処理分野の国際的人材育成について

○西原明法(東京工業大学)

[閉会挨拶 17:15-17:25]

■懇親会：

研究会終了後、金沢駅周辺で 18:30 頃から懇親会を開催する予定です。会費は 5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：

長谷川 忍（北陸先端大，第 4 回研究会担当委員）hasegawa@jaist.ac.jp



第 5 回研究会開催案内 (教育システム情報学会関東支部設立総会との合同開催)

担当：鷹野孝典(神奈川工科大学)、三石 大(東北大学)、佐々木整(拓殖大学)、
光原弘幸(徳島大学)、高木正則(岩手県立大学)

■テーマ：「新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般」

■開催日時：2018 年 1 月 6 日（土）

※ 3 連休の初日にあたりますので、お早めに宿泊先を確保されることをお勧めします。会場周辺は横浜中心エリア&観光スポットも多い（みなとみらい、中華街、山下公園）ため、宿泊先の混雑が予想されます。

■会場：神奈川工科大学 アクティブラーニング横浜

(〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 横浜東ロウイスポートビル(旧日産横浜ビル)10F)

会場へのアクセス：JR・京浜急行「横浜」、市営地下鉄「高島町」駅徒歩 5 分、

またはみなとみらい線「新高島」駅徒歩 4 分

<https://goo.gl/maps/5BuTDLBoEZQ2>

■主旨：

新しい技術の登場は、次世代教育・学習環境の設計・開発・実践について新しい発想を与えてくれるとともに、その実現に欠かせないものとなっています。スマートフォンやタブレット端末、クラウドコンピューティングや IoT、ディープラーニング、ロボット、VR・AR 技術など、多様な新技術の利用に基づく教育・学習環境の構築や授業設計がますます重要になります。2017 年度第 5 回研究会では、このような新しい技術と教育情報を活用した次世代教育・学習環境について、そのための教授設計も含め、システム・基礎技術の開発、実践、ならびに、新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集し、共に考える議論の場としたいと思います。

※ 当日は同一会場で「教育システム情報学会関東支部設立総会」が開催されます。記念講演も予定されておりますので、本研究会と併せて是非ご参加下さい。

■懇親会：研究会終了後、異国情緒溢れる横浜中華街での懇親会を開催する予定です。

■お問い合わせ先：

第 5 回研究会担当委員 鷹野 孝典（神奈川工科大学）、jsise-sig-5th@googlegroups.com



第 6 回研究会発表募集

担当：西野和典，西端律子，鷹岡亮，長谷川理，永田奈央美，山本樹，浅羽修丈（研究会委員会）

■テーマ：初等教育とプログラミング／一般

■開催日：2018 年 3 月 17 日（土）

■開催場所：畿央大学

（〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）

<http://www.kio.ac.jp/guide/outline/access/>

■発表申込締切：2018 年 1 月 17 日（水）

■原稿提出締切：2018 年 2 月 6 日（火）

■趣旨

学習指導要領の改訂に向けて、基本的な方向性が示されています。次期学習指導要領は、小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から全面实施されます。その中で、小学校においてプログラミング教育が必修化されることになっています。小学校段階におけるプログラミング教育については、プログラミング言語を用いた記述方法、いわゆるコーディングを学ぶことが目的ではなく、「プログラミングを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力」を育むことが主な目的とされています。すでに先行事例なども報告されていますが、今後、さらに小学校段階でのプログラミング教育の在り方や、教科等の中で上記の論理的思考を育むための学習内容や学習方法、教材の開発などの議論が活発化することが予想されます。

そこで、第6回研究会では、初等教育におけるプログラミング教育の学習内容や学習方法、教材開発などについての研究や議論を深めるため、「初等教育とプログラミング」に関連する研究発表を募集します。また、教育の情報化に関連した研究発表や一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■発表申込および原稿提出

当学会 Web サイトに、研究会開催のご案内が掲載されます。アクセスして頂き、お手続き下さい。

<http://www.jsise.org/society/committee.html>

注）研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。

以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております．

■懇親会：特集号研究会と合同で懇親会（4,000～5,000 円程度）を予定しております．後日，第 6 回研究会 Web ページに申込方法（申込先や申込締切日等）を掲示しますので，ご覧下さい．

■お問い合わせ先：西端律子（畿央大学，第 6 回研究会担当委員）

E-mail : r.nishibata@kio.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



特集論文研究会講演募集

担当：西野和典（九州工業大学），松田憲幸（和歌山大学），
光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（千葉工業大学）

■テーマ：—新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境—

■開催日：2018年3月17日(土)

■開催場所：畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）

<http://www.kio.ac.jp/guide/outline/access/>

■発表申込締切：2018年1月17日（水）

■原稿提出締切：2018年2月6日（火）

■趣旨

本学会誌では 2007 年に特集号「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」を発刊いたしました。それから 10 年が経過し、その間に数多くの新技術に基づくメディア・デバイスが生まれてきました。これらのデバイス・メディアは現代および次世代の学習支援システムを考える上で欠かせないものとなっています。以上のような状況を踏まえ、本特集論文研究会では、教育分野にこのようなメディア・デバイスを応用するための基礎的研究、メディア・デバイスを活用した学習支援環境の提案、ならびにこのような環境を用いた教育実践など、当該分野に関する研究発表を広く募集いたします。

本研究会は 2019 年 4 月発刊予定の本学会誌特集号と連動した企画となっており、希望者には本特集への投稿論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。発表者は、コメント希望の有無で 2 種類の発表形式を選択できます。コメントを希望されます場合には、研究会委員ならびに編集委員会委員が分担して、ご提出いただいた研究会原稿を拝読し、研究会での発表時にコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にしていただき、論文特集にご投稿いただきたいと考えております。多くの発表申し込みをお待ちしております。

[学会誌特集号の論文募集はこちら] (http://www.jsise.org/journal/cfp2018_offer.html)

(12 月中旬に公開予定。随時情報を更新します)

■主な対象分野

本特集論文研究会では「新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境」に関する研究発表を広く募集いたします。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。

アイトラッカー、加速度センサ、力覚デバイス、全天周カメラ、RGB-D カメラ、各種センサ・入力デバイス、Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality, 位置情報、3D プリ
ンタ、IoT デバイス など

■発表申込および原稿提出方法

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

- ・研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

注) コメント希望の有無は、オンライン講演申込の際に、「論文閲読希望」欄にご入力ください。コメント希望有の場合は加えて、「要旨」欄の末尾に投稿予定カテゴリ（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報、未定）をご記入ください。講演申込後にコメント希望を変更される際は、オンラインで変更してください。変更できない場合は、下記の担当者までご連絡ください。

- ・「有」の場合の発表時間は 40 分（発表 20 分、質疑 20 分）を予定
- ・「無」の場合の発表時間は 25 分（発表 20 分、質疑 5 分）を予定

■懇親会

研究会終了後、第 6 回研究会と合同で懇親会を予定しております。あらかじめご参加をご検討いただければ幸いです。

■研究会案内・お問い合わせ

- ・特集論文研究会案内：http://www.jsise.org/society/committee/2017/PROGRAM_special.html

(12 月中に公開予定。随時情報を更新します)

西野和典（編集委員会・副委員長） E-mail: nishino@lai.kyutech.ac.jp



学会誌特集号募集 —新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境—

本学会誌では 2007 年に特集号「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」を発刊いたしました。それから 10 年が経過し、その間に数多くの新技術に基づくメディア・デバイスが生まれてきました。これらのメディア・デバイスは現代および次世代の学習支援システムを考える上で欠かせないものとなっています。そこで本特集号では「新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境」に関する論文を募集いたします。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

教育分野にこのようなメディア・デバイスを応用するための基礎的研究、メディア・デバイスを活用した学習支援環境の提案、ならびにこのような環境を用いた教育実践など、当該分野に関する研究開発の論文を幅広く募ります。キーワードは以下の通りですが、これらに限定されるわけではありません。

キーワード: アイトラッカー, 加速度センサ, 力覚デバイス, 全天周カメラ, RGB-D カメラ, 各種センサ・入力デバイス, Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality, 位置情報, 3D プリンタ, IoT デバイス (これらに限定されるわけではありません)

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会（2018 年 3 月 17 日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ : http://www.jsise.org/journal/journal_en.html



2017 年度学生研究発表会発表募集（第 2 報）

人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を開催します。全国大会との連携企画も検討しております。スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、下記、学会ウェブページにて掲載していきます。

<http://www.jsise.org/society/presentation/index.html>（近日、2017 年度版に更新予定）

申込み期限は 1 月下旬、発表原稿提出は 2 月上旬を予定しております。

皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長（連絡先）
北海道 千歳市	千歳科学技術大学・2018 年 3 月 11 日(日) 小松川浩（千歳科学技術大学） hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越	未定 長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学） hse-submit@jsise.org
関東 山梨県	河口湖（ホテル湖龍）・2018 年 3 月 5 日（月）～6 日（火）（合宿形式） 山本樹（創価大学） tatsuki@soka.ac.jp
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前）2018 年 3 月 6 日（火） 野崎造成（愛知教育大学） nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス・2018 年 2 月 26 日（月） 小高恵（太成学院大学） kotaka@tgu.ac.jp
中国 広島市	広島大学東千田キャンパス未来創世センター・2018 年 3 月 3 日（土） 林雄介（広島大学） hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス・2018 年 3 月 2 日（金） 八重樫理人（香川大学） rihito@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 佐賀市	佐賀大学・2018 年 3 月 1 日（木） 岡崎泰久（佐賀大学） okaz@cc.saga-u.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター・2018 年 3 月 2 日（金） 谷口祐治（琉球大学） taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

発表方法：口頭発表またはポスター発表（ポスターは地区によっては募集しておりません）

発表資格：大学院生，大学生，短大生，高専生，高校生の他、社会人学生も参加可能です。

留学生の方の発表（英語・日本語）も歓迎します。

※いずれも JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です。

発表場所（地区）：自分の所属する大学等の場所と一致していなくても結構です。



ラーニングイノベーショングランプリ 2018 開催案内

来年も、ラーニングイノベーショングランプリ 2018 が開催される予定です。スケジュールや応募方法など詳細は後日ご案内いたしますが、最終審査と表彰式は次の日程となっています。

2018 年 7 月 4 日（水）、東京国際フォーラムで最終審査・表彰式を開催

皆様の研究成果を論文評価とは異なる目で見ていただける機会ですので、是非ご予約ください

<LIGP とは> Learning Innovation Grand Prix の略です。

学术界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

（参考）ラーニングイノベーショングランプリ 2017 における組織構成

主催：モバイルラーニングコンソシアム（mLC）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協賛：学習分析学会、人工知能学会、電子情報通信学会教育工学研究会、日本 e-Learning 学会、日本教育工学会、日本情報科教育学会

協力：日経 BP 社、ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：アカデミックパス、工学研究社、デジタル・ナレッジ、ヒューマンサイエンス、D2C、WARK

<LIGP 公式サイト>

<http://ligp.gingerapp.co.jp/>



関東支部設立総会開催のご案内

関東支部 支部長 松居辰則（早稲田大学）

教育システム情報学会関東支部の設立が 2017 年 6 月に開催されました理事・評議員会、総会で承認されました。教育システム情報学会の中では最も新しい最大規模の支部となります。支部での様々な活動を通して、本学会、そして研究分野の発展に貢献して参りたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

つきましては、2018 年 1 月 6 日（土）に教育システム情報学会関東支部設立総会を開催し、支部としての活動を本格的に開始したいと考えております。年始のお忙しい中ですが、関東支部のスタートの重要な会議になりますので、是非、皆様ご出席くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。総会への出欠の確認・委任状につきましては、別途メール（11 月 27 日付）にてご案内しておりますので、ご確認の上、ご回答のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、この設立総会は、教育システム情報学会第 5 回研究会の中で開催させていただき、寛捷彦先生（早稲田大学名誉教授）による記念講演も予定しております。

記

【日時】 2018 年 1 月 6 日（土）13:00～15:00

【場所】 神奈川工科大学 アクティブラーニング横浜

〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 横浜東ロウイスポートビル（旧日産横浜ビル）10F

※ 会場へのアクセス (<https://goo.gl/maps/5BuTDLBoEZQ2>)

JR・京浜急行「横浜」、市営地下鉄「高島町」駅徒歩 5 分

みなとみらい線「新高島」駅徒歩 4 分

【内容（予定）】

13:00～14:00 設立総会

議題：1. 関東支部設立の趣旨と活動方針

2. 関東支部役員の構成

3. 平成 29 年度、30 年度の活動計画

4. 平成 29 年度、30 年度の予算計画

5. その他

14:00～15:00 記念講演

寛捷彦先生（早稲田大学名誉教授）にプログラミング教育、情報教育、国際情報オリンピックについてご講演をいただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・ 年間購読: 4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・ 当日販売: 1 回分 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。 すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば):
お名前:
所属:
連絡先 e メールアドレス:
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



電子情報通信学会 信越支部大会における 教育システム情報学セッション開催の報告 (北信越支部)

電子情報通信学会信越支部大会が 2017 年 10 月 7 日（土）に信州大学長野（工学）キャンパスで開催されました。2015 年度から始まった JSiSE 北信越支部セッションに 3 件の発表があり、20 名程度の聴講がありました。

- (1) 教育実習生によるテレビ会議を用いた英語の遠隔授業の実践
小林花梨音，小林礼佳，森下孟（信州大学）
- (2) 小学校算数科におけるタブレット PC の協働的な活用の効果
渡辺祐一，尻無浜由衣，谷塚光典，市川公明（信州大学）
- (3) 展示パネル評価のための画像複雑度と満足度の関係分析
山田航平，中平勝子，北島宗雄（長岡技術科学大学）

初等中等教育や科学館・博物館など様々な場面を対象として、実践から認知的なトピックまで間口の広い JSiSE らしい発表と活発な議論がなされました。特に、学校現場における ICT 機器の利用に関する発表は、現在の教育の情報化の流れの中で重要なトピックとして印象に残りました。

こうしたジョイント企画は支部における発表の機会として重要な役割を果たしているため、今後も継続して実施して参ります。

詳しくは、電子情報通信学会 信越支部の Web ページもご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：

<https://www.ieice.org/shinetsu/>





Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用（フォロー）ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2017 年 11 月 28 日現在、フォロワー数 : 179 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

◇ 2017 年 11 月 28 日現在、いいね数 : 315 件

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2017 年 9 月 30 日現在、いいね 310 件





他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 『高校教科「情報」シンポジウム 2017 秋 ジョーシン 2017 秋』

日時：2017 年 10 月 28 日（土）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス（理工学部）

協賛 『シンポジウム「モバイル' 18」』

日時：2018 年 3 月 15 日（木）～16 日（金）

会場：静岡大学 浜松キャンパス



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【2017 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に 2017 年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2017年9月25日～2017年11月25日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
奥本 隼	学生会員	谷 陽良	学生会員
小林 峰子	正会員	青木 悠樹	正会員
鬼頭 久子	正会員	宮城 桂	正会員
小野 真太郎	学生会員	力石 武信	正会員
福島 海	正会員		

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。